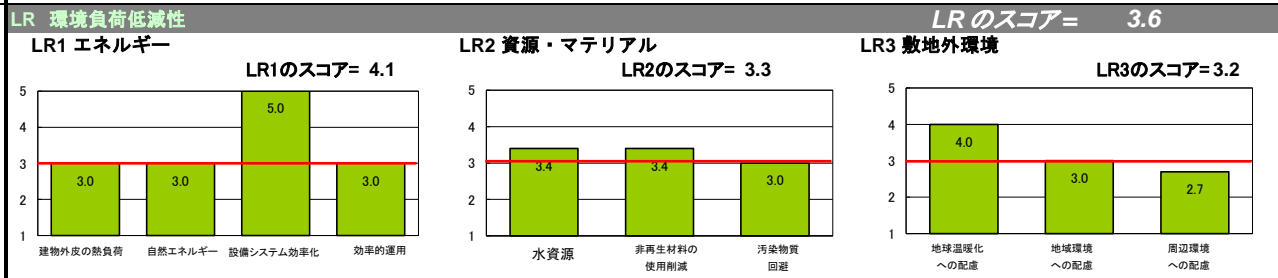
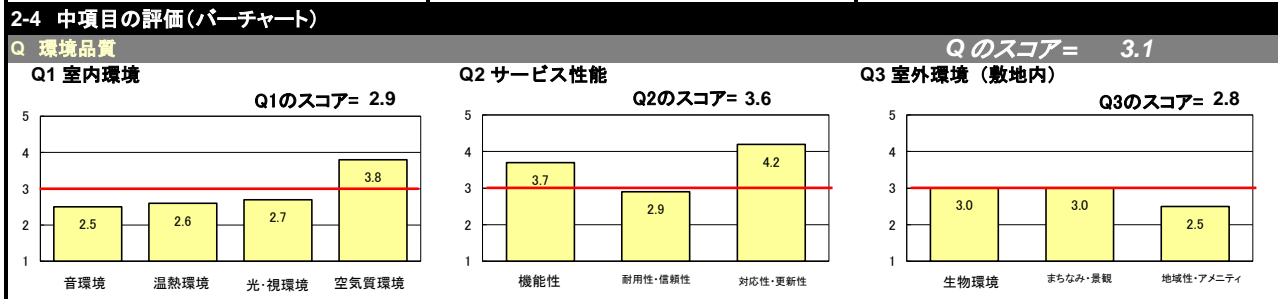
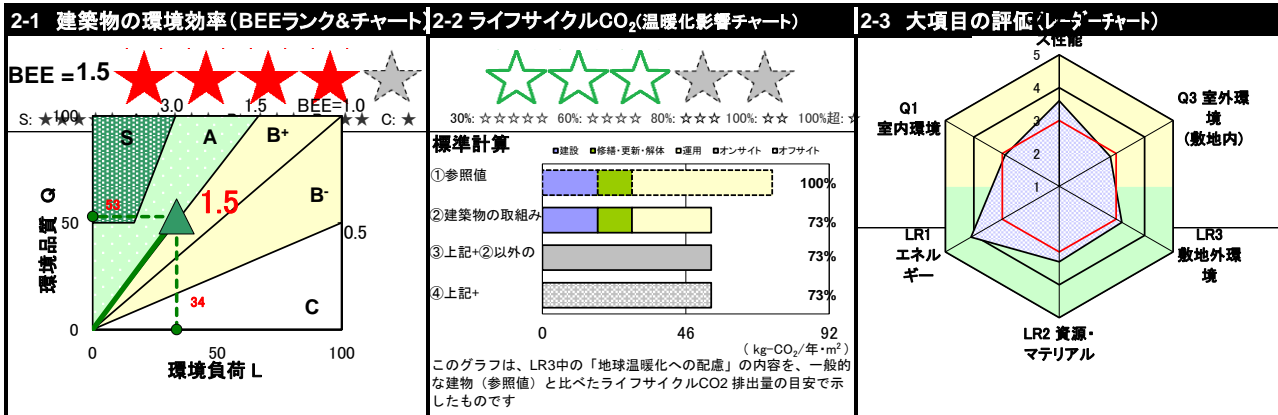


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)JA全農ミートフーズ大和ミートデリカ工場・西部物流センター新築工事	階数	地上3F
建設地	大和市下鶴間字乙四号2312番1の一部他3筆	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年
建物用途	事務所工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2016年4月1日
敷地面積	8,919 m ²	作成者	㈱熊谷組一級建築士事務所
建築面積	4,099 m ²	確認日	2016年4月1日
延床面積	6,007 m ²	確認者	㈱熊谷組一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		その他
総合 食品工場の衛生管理においてHACCPを取り入れた工場とする。		0
Q1 室内環境 生産ラインに合わせた温湿度環境と気流の計画をしている。	Q2 サービス性能 執務空間は作業員に合わせた広さと、ゆとりのある天井高さを確保している。食堂や休憩室等のリフレッシュ空間も備える。	Q3 室外環境(敷地内) 必要緑地面積を確保し、また外観も奇抜なデザインは避けて、周辺環境に配慮した。
LR1 エネルギー 事務所部分は窓を多数設けて、自然採光を考慮した。	LR2 資源・マテリアル トイレ廻りの設備は節水型のものを採用した。	LR3 敷地外環境 設備機械を屋上に配置し、周辺からの景観と騒音に対して配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される